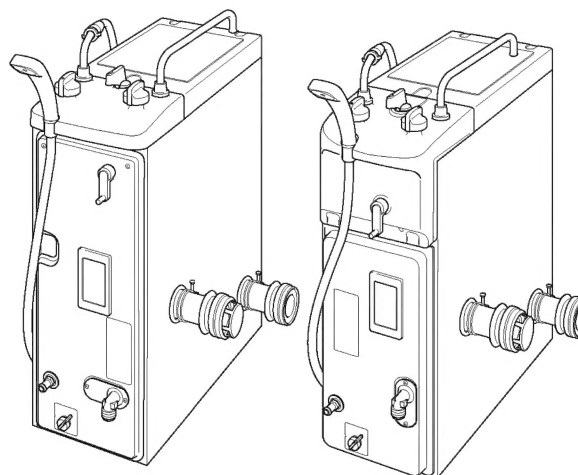
大阪ガス

給湯・シャワー付ガスBFふろがま
取扱説明書

保証書別添

131-R900型　131-R901型
131-R920型　131-R921型
131-R924型　131-R925型
131-R926型　131-R927型

型式名：　SR-135SN
SR-61-A・SR-61
SR-S1D
SR-S1-A

このたびは、給湯・シャワー付ガスBFふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、給湯・シャワー付ガスBFふろがまを安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときお読みください。

保証書は別添になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

51017330

5101733000　BH-01

もくじ

はじめに

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。
使いかたが分からなくなったときなどは、表紙の「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書の構成

本書は、以下の８の項目から構成されています。
（※表紙に「もくじ」を設けてあります。）

安全のための注意……本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。

各部の名前とはたらき……各部の名称と機能を記載しています。

使いかた……最初にお使いになる際にしていただきたい内容、水栓やシャワーでお湯を使う場合の操作方法およびおふろを沸かす方法を記載しています。

凍結予防……冬期など寒い時期に機器および付帯設備の凍結を予防するための方法を記載しています。長期間ご使用にならない場合にもお読みください。

点検・お手入れ……快適に長く機器を使用していただくためにお客様にしていただきたい、点検とお手入れの方法を記載しています。

故障かな？と思ったら……症状別の対処方法を記載しています。機器の調子が変だなと思ったらお読みください。

仕様……機器の仕様と能力を記載しています。

サービス……アフターサービスを依頼される場合のご注意や、保証、機器の修理・移設に関するお知らせを記載しています。

本書で使用する絵表示について

……参照ページおよび参照箇所

用語……用語説明

仕組み……仕組みの説明

ヒント……使いかたのヒント

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、２ページを参照してください。

必ずお守りください

安全のため、必ずお読みください。

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

表示	内容
危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

絵表示の意味

 一般的な危険 警告 注意

 火災注意

 高温注意

 一般的な禁止　触れるな

 ぬれ手禁止

 分解禁止

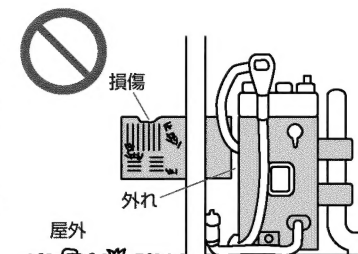
 火気禁止

 必ず行うこと

⚠危険

給排気筒トップの外れに注意

- 給排気筒トップの外れ、損傷や鳥の巣などによる詰まりに気づいたときは、すぐに使用をやめ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

  このまま使用すると、排気が室内に漏れたり不完全燃焼の原因となります。

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓およびメーターのガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺の電話も使用しないでください。

  火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止

電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止

ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

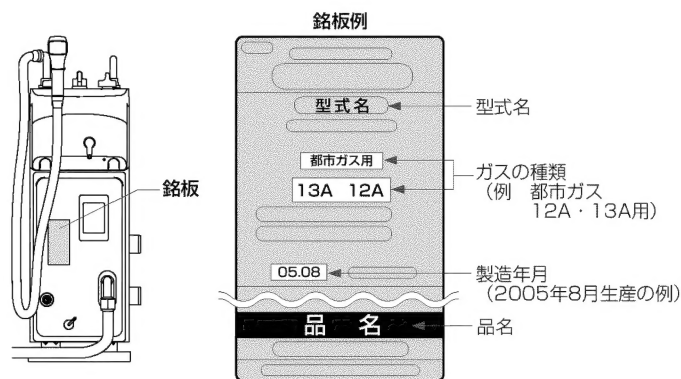
必ずお守りください

⚠警告

ガスの種類を確認

●機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
●銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）を確認してください。銘板に表示のガス以外では使用しないでください。
異なるガスで使用すると、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。
不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。

銘板確認

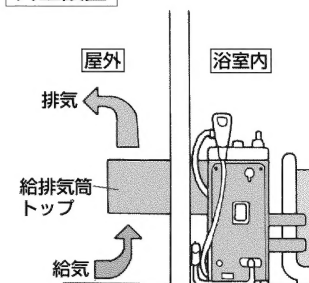
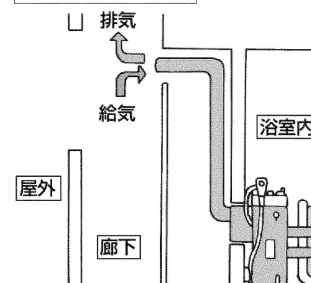
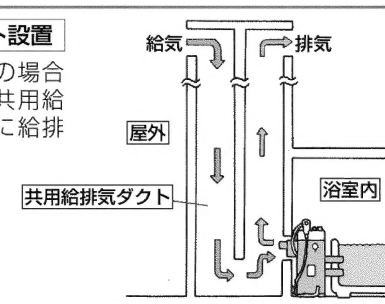
裏表紙「サービスを依頼されるとき」

ガスの接続について

●この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。

⚠警告

給排気筒トップに囲いをしない（外壁・チャンバー設置のお宅）

●増改築などによって給排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。また、外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで家屋の壁面を覆うことがあります。そのような場合は使用しないでください。

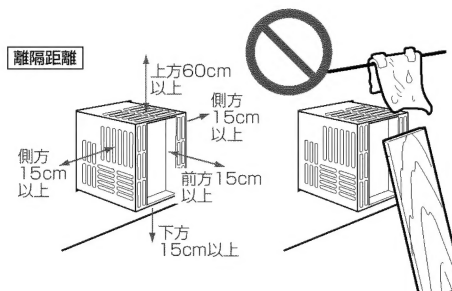
不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因となり大変危険です。
●お客様宅の設置方式をご確認ください。

参考：ダクト設置
※ダクト設置の場合は、建物の共用給排気ダクトに給排気します。

屋外に設置しない

●この機器は浴室内設置型です。屋外に設置しないでください。また、給排気筒トップは屋外に面した壁面の外に出るようにしてください。
機器に雨水が浸入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。

⚠警告

可燃物に注意

- 給排気筒トップの周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物）を置かないでください。

  火災など、思わぬ事故の原因となります。
- 給排気筒トップは、周囲のものとは常に右記の離隔距離を確保してください。

お子様に対する注意

- 浴室で遊ばせないでください。

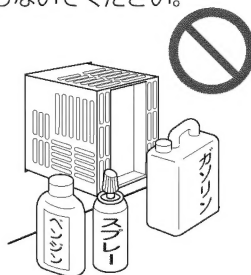
  お風呂を沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 一人でお湯を使わせないでください

  思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽にもぐったりしないように注意してください。

  思わぬ事故の原因となります。

引火のおそれのあるものの使用禁止　スプレー缶厳禁

- 機器や給排気筒トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。

  引火して、火災のおそれがあります。
- 機器や給排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

使用中の外出・就寝禁止

- 火をつけたまま、就寝・外出はしないでください。

  思わぬ事故の原因となります。

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使うときは必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子さまには一人でお湯を使わせないでください。
  - ・お湯を一度止めて再度使用するとき
  - ・高温のお湯を使った直後
  - ・湯量を急に少なくした場合
  - ・夏期など水温の高い時期にお湯を少しだけ使おうとした場合
  - ・トイレの水を流すなどして、給水圧が変化した場合
  - ・長時間の追いだき直後
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外は湯温調節つまみの位置を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。
- 給湯配管先の給湯栓で湯量を少なくしすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりします。

  特に水温が高いときは、湯温調節つまみを「ぬるい」にしても熱いお湯が出ることがあります。こんなときは能力切替つまみを調節するか、水と混ぜてお使いください。
- 給湯使用中は出湯管が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- シャワーホースが折れ曲がるなどしたままシャワーを使用しないでください。熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

つまみ・レバーはマークに合わせて使用する

- 器具栓つまみや能力切替つまみ、および出湯栓切替レバーはマークの位置に合わせて使用してください。

  マーク以外の位置で使用すると、熱いお湯が出ることがあります。また、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると排気がもれて一酸化炭素中毒の原因となります。

排水口の詰まりに注意

- 浴室の排水口はこまめに掃除してください。

  排水口が詰まると機器内に水が浸入し、点火時に炎があふれて火災や機器損傷の原因となります。

必ずお守りください

⚠警告

無理な力を加えない

- 機器本体や付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。
  けがや故障の原因となります。機器に無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

他の機器との接続について

- この機器を太陽熱温水器に接続しないでください。
  高温のお湯が出てやけどをすることがあります。

入浴するときはやけどに注意

高温注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。

  浴槽内のお湯の上下に温度差が生じることがありますので、お湯を十分にかきまぜてから確認してください。
- 追いだきのときは循環口が熱くなったり循環口から熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

温度確認

入浴時のご注意

- 浴槽にもぐらないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

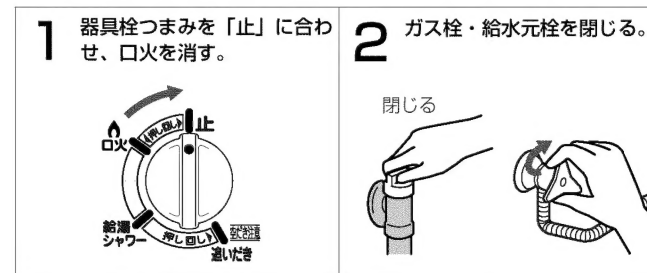
分解禁止

- お客さまご自身では、機器を分解したり、修理・改造はしないでください。
  けがや故障の原因となります。

⚠警告

異常時の処置
地震・火災などの緊急のときには

- 機器の異常（給排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

裏表紙「サービスを依頼されるとき」

- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは・・・

P2「ガス漏れ時の処置」

- 点火しない、使用中に消火したなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じ、本書の「修理を依頼される前に」を参照して、適切な処置をしてください。再度使用してみて、それでも異常がある場合にはすぐに使用をやめ、上記の処置をして、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

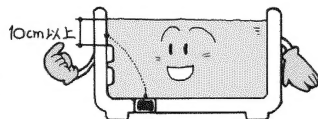
裏表紙「サービスを依頼されるとき」

おふろを沸かしすぎたときには

- 追いだきの消し忘れなどによりおふろを沸かしすぎた場合は、浴槽のお湯が沸とうし蒸気が噴き出すことがありますので、浴室へ入るときや、ふろのふたを開ける際はやけどなどに十分注意してください。
- 浴槽のお湯があつい間は、絶対に、お湯に手や体を入れたりしないでください。やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

空だきを予防するために

- 追いだきをするときは、浴槽の水位が上部循環口より上に10cm以上あることを確認してください。
  水位が低いと空だきし、機器の寿命を短くするだけでなく、機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。

用途について

- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワー、おふろへの湯はり以外の用途には使用しないでください。
  これら以外の用途に使用すると、思わぬ事故の原因となります。
- ホースなどを出湯管につないで延長して使用しないでください。

機器や給排気筒トップでのやけどに注意

- 使用中、使用直後は機器および給排気筒トップとその周辺は高温になりますので、さわらないでください。また、機器と浴槽（または壁）との間には手を差し込まないでください。
  お子さまの事故防止のために、給排気筒トップは市販されている「BF用トップフード」などで保護することをおすすめします。

接触禁止

給排気筒トップに指や棒を入れない

- 給排気筒トップに指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

高温のお湯を水と混ぜて使うとき（2バルブ式混合水栓の場合）

- 給湯配管先で高温のお湯に水を混ぜて使うときは、やけど防止のため先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。

⚠ 注意

積雪による給排気筒トップの閉塞に注意

- 積雪や、屋根から落ちた雪により給排気筒トップがふさがれないように注意してください。ふさがれそうなときには、安全に注意して、除雪してください。
  ふさがれると排気が逆流して室内に流れ、一酸化炭素中毒の原因になります。
  こんなときは…
  裏表紙「サービスを依頼されるとき」
- 屋根から落ちた雪が給排気筒トップをふさいだり破損するおそれのあるときは、屋根の雪止め工事を工事店に依頼してください。

お願い

この機器は特監法対象機器です

- この機器は「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」で定める「特定ガス消費機器」です。「ガス消費機器設置工事監督者」もしくはその監督のもとでなければ取り付けできません。
  この機器には、工事完了後、工事責任者が法定ステッカーを貼付することになっています。貼付されていないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

法定ステッカー(例)

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を、点火確認窓で確認してください。

運転停止時の注意

- 口火、給湯やシャワー、追いだき使用中は、ガス栓を操作して消火しないでください。
  すぐに再使用する場合、口火点火時に異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。

お願い

水による着色について

- 給水配管が新しい場合や水質によっては、微量の銅イオンがお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽や洗面台やタオルなどが青く着色することがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤等で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

飲用に使うときは

- 機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

本体の上に金属製のものを置かない

- 本体の上にヘアピンや金属片を置かないでください。
  機器本体はステンレス製ですが錆びることがあります。

強化ガスホースの注意

- 強化ガスホースは、折れたりねじれたりしないようにしてください。また、機器の下を通したり、触れたりしないようにしてください。
  強化ガスホースがひび割れたり差し込み口がゆるくなった場合はガス漏れの原因になりますので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

適合する別売品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
  事故や故障の原因となります。
- 市販の湯ざめ防止器などを使用しないでください。
  釜なりや機器故障の原因となります。

お願い

循環口をタオルでふさがない

- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。
  追いだきをしたとき、機器内のお湯が沸とうしてやけどをするおそれがあります。
- 浴槽内でタオルを使ったり、衣類やペットなどを洗わないでください。
  毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。

温泉水や自家用井戸水で使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器を腐食させるおそれがありますので使わないでください。

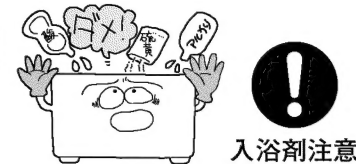
一般家庭用品です

- 業務用のような使用頻度の高い使い方をすると機器の寿命を短くします。

入浴剤や洗剤などについて

- 硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。

  熱交換器の腐食や故障の原因となります。
  異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。

- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。
  使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
  思わぬ事故や故障の原因となります。
- 入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

お願い

燃焼排ガスについて

- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは、給排気筒トップの周囲に置かないでください。

増改築時の注意

- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
  変色・破損・腐食の原因となります。
- 給排気筒トップの周囲に塀などを設ける場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご相談ください。
  塀などの形状・大きさ・給排気筒トップからの距離によっては、機器の正常な燃焼を妨げることがあります。

冬期または長期間使用しないとき

- 冬期または長期間使用しないときは凍結予防をしてください。
  P25-26「凍結による破損予防」

断水時のご注意

- 断水すると使用できません。使用中に断水すると停止します。
  「追いだき」は使用できることがあります。
- 使用中に断水した場合は、器具栓つまみと出湯栓切替レバーを「止」に戻し、全ての給湯栓を閉めて、水の供給が復帰するのをお待ちください。
- 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
  断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。

国内のみで使用

浴槽からお湯を抜く際には

- 浴槽からお湯を抜く際には、機器が追いだきをしていないか確認してください。追いだきをしている間は、浴槽のお湯を排出しないでください。

機器に水をかけない

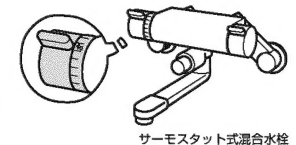
- むやみに水をかけないでください。
  故障の原因となります。

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器を洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

水栓について（給湯配管している場合）

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタット式混合水栓をご使用の場合は、ハンドルによる温度調節がうまくはたらかないことがあります。ハンドルの温度を最高にして、機器本体の湯温調節つまみでお湯の温度を調節してください。

サーモスタット式混合水栓

シャワーの取り扱いについて

- 浴槽や洗面器の中にシャワーヘッドを入れたまま長時間放置しないでください。

出湯管の取り扱い注意

- 出湯管を手すりとして使用したり、タオルをかけたりしないでください。
  出湯管が破損することがあります。

各部の名前とはたらき

機器各部の名前を確認してください。

● 右図の機器は 131-R900 型（右タイプ）です。本文中も 131-R900 型で操作説明をしています。131-R901 型（左タイプ）は浴槽が機器の左側になり、能力切替つまみ・循環口・シャワー・出湯管などの位置また、出湯栓切替レバー・能力切替つまみの表示が左右逆になります。

右タイプ

左タイプ

131-R900 型・131-R901 型

操作パネル

シャワー

出湯管

出湯栓切替レバー
シャワーもしくは出湯管からお湯を出すときに回します。

湯温調節つまみ
お湯の供給量を加減することで、温度を調節します。

器具栓つまみ
各バーナーの設定を選択します。

止:	いずれのバーナーも点火しません。
口火:	口火のみ点火します。
給湯シャワー:	給湯やシャワーの使用時に給湯バーナーに点火します。
追いだき:	追いだきバーナーに点火します。

能力切替つまみ
ガスの供給量を切り替えて、供給するお湯の湯温調節範囲を拡大します。

湯沸能力切替（右タイプ）
大　小

給水元栓

給湯配管

給湯接続口

出湯管

給水接続口

シャワー

点火ハンドル
口火を点火するときに回します。

浴槽

上部循環口
追いだき時に加熱されたお湯が出ます。

点火確認窓

ガス栓

下部循環口
追いだき時に浴槽のお湯を取り入れます。

水抜き栓つまみ
凍結予防処置の際、機器内の水を抜きます。

循環口キャップ

排水栓

銘板

強化ガスホース

131-R920型・131-R921型・131-R924型・131-R925型・131-R926型・131-R927型

操作パネル

シャワー

出湯管

湯温調節つまみ

お湯の供給量を加減することで、温度を調節します。

ぬるい 1 2 3 4 5 6 7 あつい
湯温調節

出湯栓切替レバー

シャワーもしくは出湯管からお湯を出すときに回します。

止 口火 給湯シャワー 押し回し 追いだき 空だき注意

器具栓つまみ

各バーナーの設定を選択します。

止：　いずれのバーナー も点火しません。

口火：　口火のみ点火します。

給湯シャワー：　給湯やシャワーの使用時に給湯バーナーに点火します。

追いだき：　追いだきバーナーに点火します。

給水元栓

給湯配管

給湯接続口

出湯管

シャワー

給水接続口

浴槽

点火ハンドル

口火を点火するときに回します。

上部循環口

追いだき時に加熱されたお湯が出ます。

点火確認窓

ガス栓

下部循環口

追いだき時に浴槽のお湯を取り入れます。

能力切替つまみ

ガスの供給量を切り替えて、供給するお湯の湯温調節範囲を拡大します。

湯沸能力切替（右タイプ） 大 中 小

水抜き栓つまみ

凍結予防処置の際、機器内の水を抜きます。

循環口キャップ

排水栓

銘板

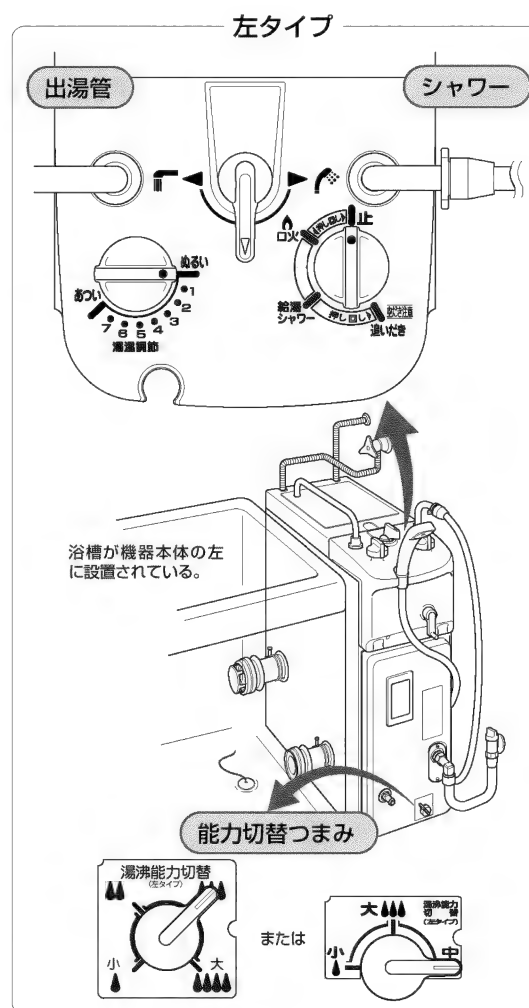
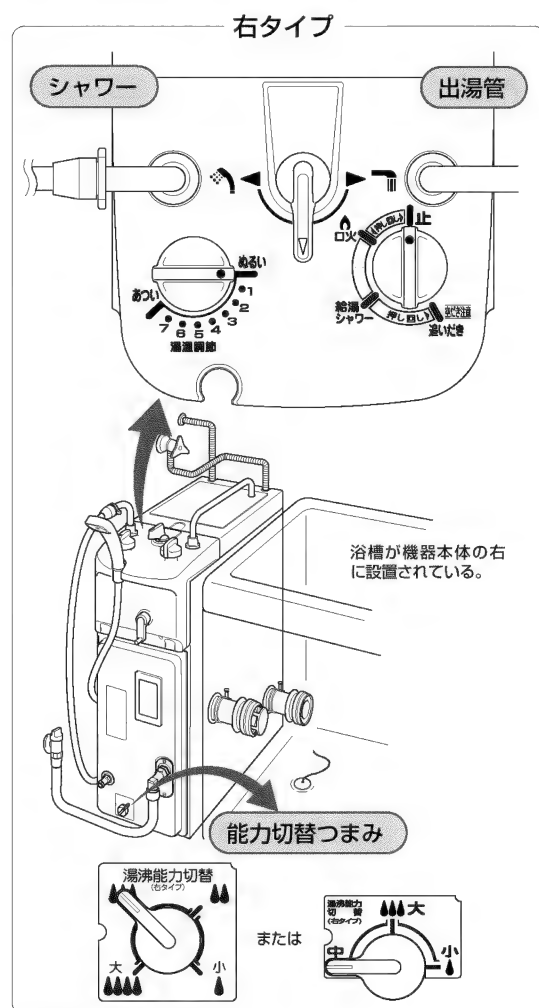
強化ガスホース

●右図の機器は右タイプです。本文中も右タイプで操作説明をしています。左タイプは浴槽が機器の左側になり、能力切替つまみ・循環口・シャワー・出湯管などの位置と、出湯栓切替レバー・能力切替つまみの表示が左右逆になります。

※右図は一例です。機種により機器本体の形状が、若干異なります。また、給水元栓、ガス栓、配管の位置・形状などは、この図と異なることがあります。

各部の名前とはたらき

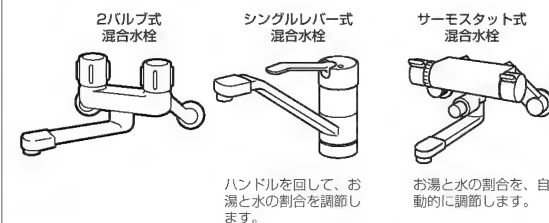
右タイプ

左タイプ

？用語

混合水栓

機器本体で作られるお湯と水を混ぜることでお湯の温度が調節できる水栓。2バルブ式、シングルレバー式、サーモスタット式があります。

ハンドルを回して、お湯と水の割合を調節します。

お湯と水の割合を、自動的に調節します。

単水栓

機器本体で作られるお湯のみ、または水のみが出る水栓。

給湯栓

給湯配管先の水栓の、お湯の出し・止め・流量調節をするハンドル（つまみ）を指します。

追いだき

浴槽に張ってあるお湯を循環口から機器本体に取り入れ、機器本体の中で加熱し、再度浴槽に戻すことで浴槽のお湯をあつくしていくこと。

給湯配管

浴室以外の場所（台所や洗面所など）の水栓に、機器本体の給湯接続口より配管することでお湯を供給すること。またはその配管を指します。

湯量・お湯の量

この説明書では、出湯管、シャワー、または給湯配管先の水栓から出されるお湯の流量（出具合）を指します。

熱湯遮断弁

やけど防止のため、お湯の温度が高くなり過ぎたときにそれを検知してバルブを閉じてお湯の供給を止める装置です。シャワー側に組み込んであります。熱湯遮断弁の温度が下がるとまたバルブが開きます。

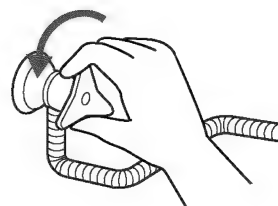
初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。

1

水抜き栓つまみが閉じていることを確認する

2

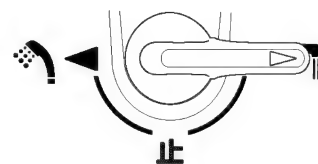
給水元栓を開ける。

3

ガス栓は閉じたままで、出湯栓切替レバーを回して出湯管に合わせ、水を出す。

出湯栓切替レバーの ▷ を、┓ の位置に合わせる。

出湯管から水が出る

出湯栓切替レバーは“カチッ”と音がするまで回してください。

※給湯配管をしている場合、出湯栓切替レバーの ▷ を **止** に合わせたまま、配管先の給湯栓を開けて水を出してください。

4

出湯栓切替レバーを「止」に合わせて水を止める。

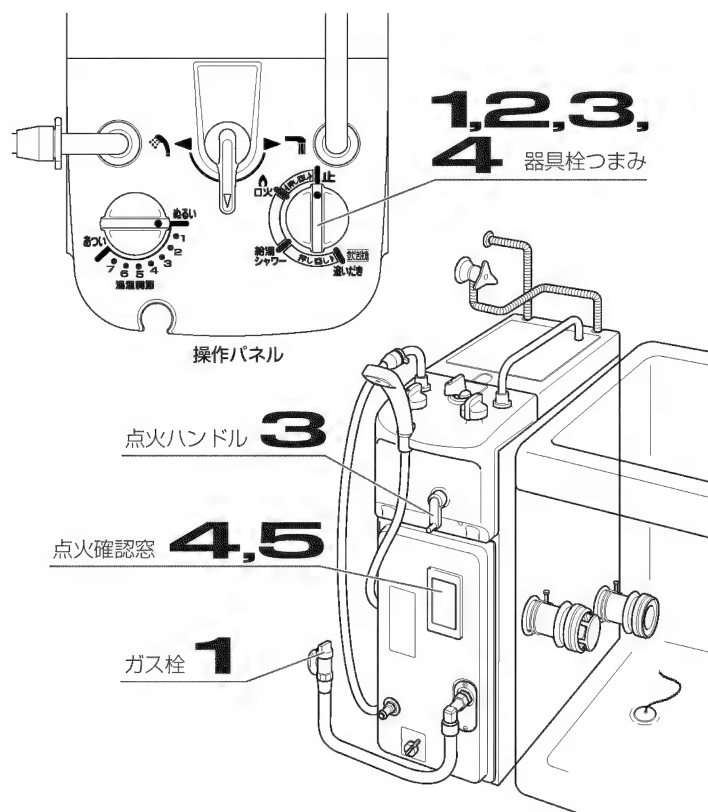
水が止まる

出湯栓切替レバーは“カチッ”と音がするまで回してください。

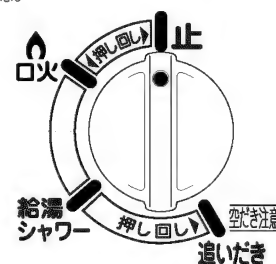
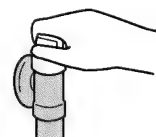
※給湯配管先で水を出した場合は、配管先の給湯栓を閉じて、水を止めてください。

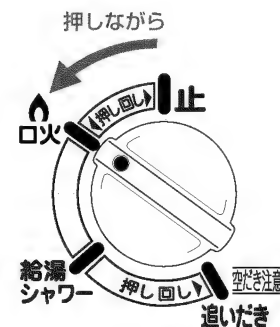
※左タイプでは出湯管は左側になります。

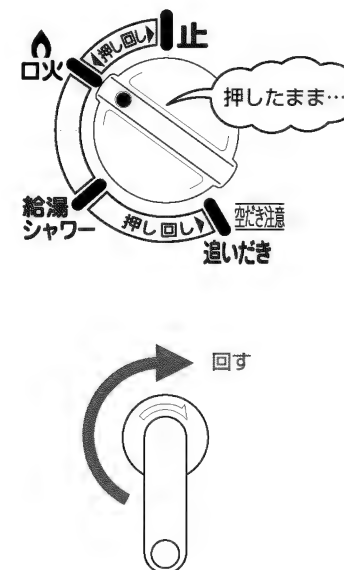
口火のつけかた

給湯や、おふろ沸かしをする前に、口火をつけてください。

1

器具栓つまみが「止」の位置にあることを確認してから、ガス栓を開ける。

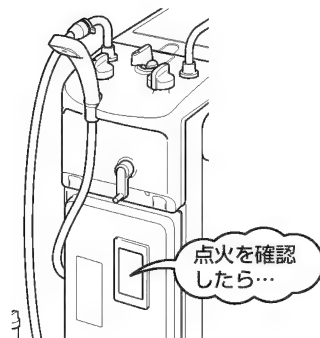
「止」の位置にあることを確認。

ガス栓を開ける。

2

器具栓つまみを押しながら「口火」の位置に回す。

3

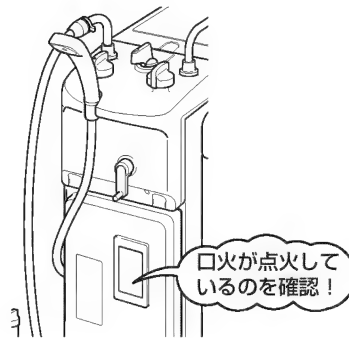
「口火」の位置で器具栓つまみを押したまま、点火ハンドルを右に回す。

"カチッ"という音がして火花が飛び、口火に点火します。

4

点火確認窓で口火に点火したことを確認し、さらに約５秒間器具栓つまみを押し続ける。

「口火」の位置でさらに約５秒間押し続ける。

5

器具栓つまみを離しても口火が点火していることを確認する。

点火しないときは、手順 **2** からやり直してください。

使用後や、就寝・外出のときには…

器具栓つまみを押しながら回して「止」の位置に戻し、口火を消す。

必ず、口火が消えていることを確認してください。

⚠注意

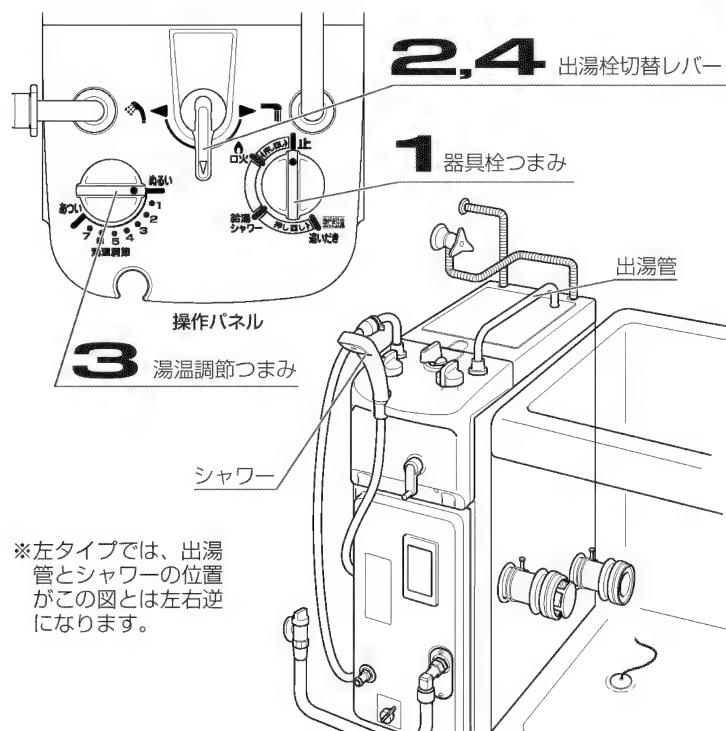
点火について

- 器具栓つまみは、「口火」の位置で１５秒以上押さないでください。１５秒以内で口火に点火しないときや、口火が消えてしまったときは、器具栓つまみを「止」の位置に戻し、１分以上間をあけてガスを逃してから再び操作してください。
  １５秒以上押したり、１分待たないで点火しようとしたりすると、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。

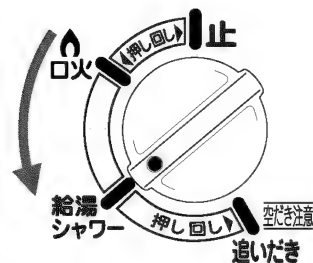
消火直後の再点火について

- 「口火」の位置から「止」の位置に戻した直後に再び点火するときは、２分以上間をあけてからもう一度手順 **2** から操作し直してください。
  時間が短いと異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。

出湯管やシャワーでお湯を使うとき

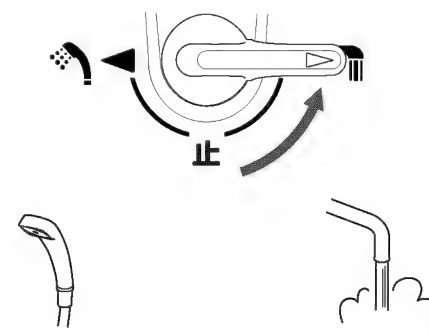
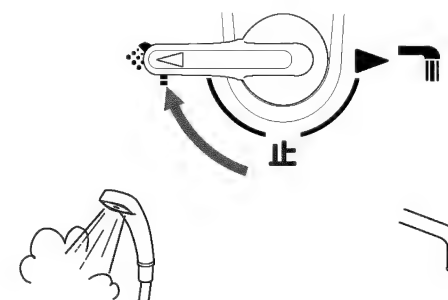
出湯管とシャワーの切替はレバーひとつで簡単です。

※左タイプでは、出湯管とシャワーの位置がこの図とは左右逆になります。

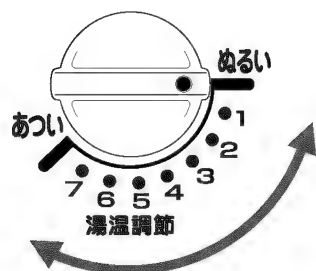
1

口火が点火していることを確認し、器具栓つまみを「給湯シャワー」の位置に合わせる。

口火がついていないときは
P13-14「口火のつけかた」

2

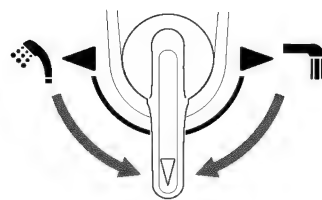
出湯栓切替レバーを、出湯管かシャワーのいずれかお湯を出したい側に合わせる。

出湯管からお湯を出すとき

シャワーからお湯を出すとき

3

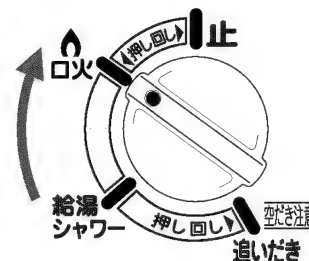
湯温調節つまみで湯温を調節する。

ぬるい方に回すとお湯の量が増えてぬるくなります。
あつい方に回すとお湯の量が減ってあつくなります。
お好みの湯温が得られないときは…

P20「能力切替つまみの使いかた」

4

お湯を止めるには、出湯栓切替レバーを「止」の位置にする。

お湯が止まります。

しばらく、お湯を使わないときには…

器具栓つまみを「口火」の位置に回す。

お湯をもう使わないとき、就寝、外出のときは口火を消してください。

P14「使用後や、就寝・外出のときには…」

⚠ 警告

やけどに注意

- 出湯栓切替レバーは ◀ か ▶ のマークの位置に合わせて使用してください。
  途中位置で使用すると、あついお湯が出ることがあります。
- お湯を使用している本人以外（小さなお子様など）は、お湯の温度を変えないでください。
- お湯を使うときは、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときは、一瞬あついお湯が出ることがありますので出始めのお湯は体にかけないでください。

器具栓つまみについて

- 器具栓つまみは「口火」、「給湯シャワー」、「追いだき」のマークの位置に合わせて使用してください。
  途中位置で使用すると、異常着火して大きな音がしたり機器が変形することがあります。

▶▶仕組み

シャワーからお湯が出なくなったら…

湯温の設定が高い状態（湯温調節つまみの位置が「あつい」側に、能力切替つまみの位置が「大」の位置にある状態）でシャワーをご使用の際と、長時間の追いだき直後にシャワーをご使用の際は、あついお湯が出るのを防ぐために熱湯遮断弁が作動して出湯を自動停止することがあります。
お湯が出なくなったときは…

1. 湯温の設定がシャワーの使用に適当であるかを確認し、必要に応じてぬるくなるよう設定する（手順 **3** を参照）。
2. 次のいずれかの方法で熱湯遮断弁の温度を下げる。
   a. 出湯栓切替レバーを「止」の位置にして約10分間待つ。
   b. 出湯管から、適温のお湯が出るようになるまであついお湯を流し出す。**このとき、あついお湯が飛び散ることがありますので、近付かないようにしてください。**
   c. 器具栓つまみを「口火」の位置に戻し、出湯管から少しのあいだ水を流す。

※出湯栓切替レバーをシャワーの位置から動かさないでいると、シャワーからお湯が出ないままになることがありますので、必ず、1．2．のように処置してください。
※湯温の設定がシャワーの使用に適当で、追いだき直後以外でもひんぱんにお湯が止まる場合は、機器の故障の可能性があります。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

⚠ 警告

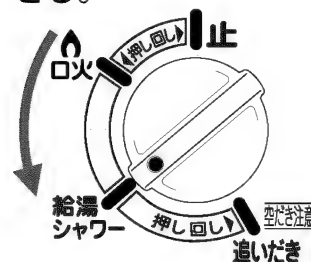
やけどに注意

- 出湯管からあついお湯を出すときは、やけどなどに十分注意してください。

台所でお湯を使うとき
（給湯配管してあるお宅）

台所や洗面所に給湯配管してあるお宅では、給湯栓を開ければお湯が出ます。お好みにより水と混ぜながらお使いください。

1

口火がついていることを確認し、器具栓つまみを「給湯シャワー」の位置に合わせる。

口火がついていないときは
P13-14「口火のつけかた」

2

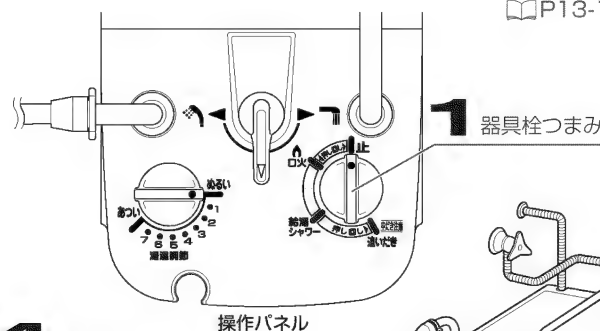
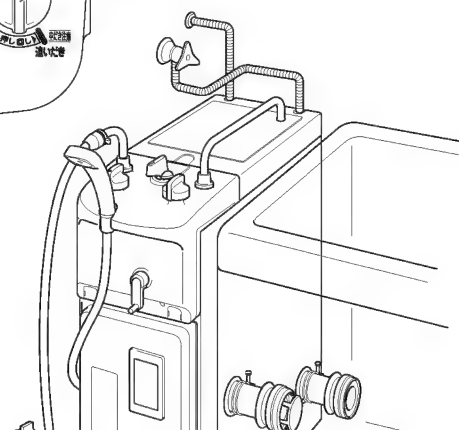
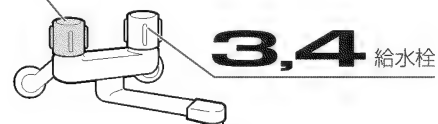
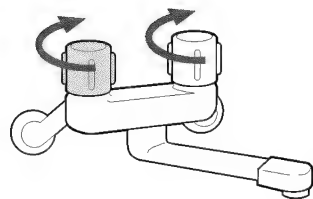
給湯栓を全開にする。

※シングルレバー式混合水栓の場合は、湯側（最もあつい位置）にしてください。
※サーモスタット式混合水栓の場合は、温度調節ハンドルの位置を最高にします。

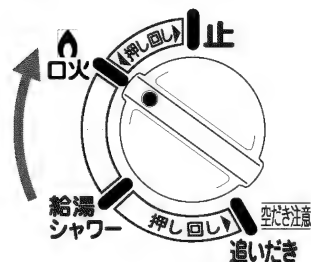
しばらくするとお湯になります。
※給湯栓を絞ってお湯の量を少なくすると、あついお湯が出ることがあります。給湯栓は全開にしてお使いください。

3

お湯があついときは、水を混ぜて調節する。（2バルブ式混合水栓をご使用の場合）

お湯がぬるいとき、または単水栓やシングルレバー式混合水栓・サーモスタット式混合水栓をご使用の場合は、機器本体の湯温調節つまみまたは能力切替つまみで調節します。
P15-16「出湯管やシャワーでお湯を使うとき」
P20「能力切替つまみの使いかた」

使用後、給湯栓および給水栓を閉じる。

お湯が止まります。

しばらく、お湯を使わないときには…

器具栓つまみを「口火」の位置に回す。

お湯をもう使わないとき、就寝、外出のときは口火を消してください。

P14「使用後や、就寝・外出のときには…」

⚠ 警告

やけどに注意

- お湯を使用している本人以外（小さなお子さまなど）は、お湯の温度を変えないでください。
- お湯を使うときは、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときは、一瞬あついお湯が出ることがありますので出始めのお湯は体にかけないでください。

高温注意

⚠ 注意

高温のお湯を水と混ぜて使うとき

- やけど防止のため、２バルブ式混合水栓で高温のお湯に水を混ぜて使うときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。

給湯栓は全開にする

- 給湯栓は全開にして使用してください。
  給湯栓の開けかたが足りないと、あついお湯が出ることがあります。

お願い

水栓について

- 給湯配管先の水栓は抵抗の少ない混合水栓を使用してください。
  水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。

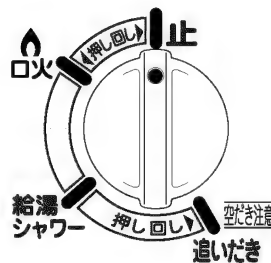
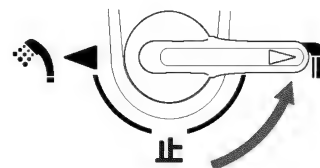
水を使うとき

機器本体の出湯管やシャワーで水を使用するときには、下記の手順で行ってください。給湯配管先の水栓が単水栓の場合も、同じ要領で水を使用することができます。

操作パネル

1

器具栓つまみを「止」または「口火」の位置に合わせる。

2

出湯栓切替レバーを、出湯管かシャワーのいずれか水を出したい側に合わせる。

水が出ます。

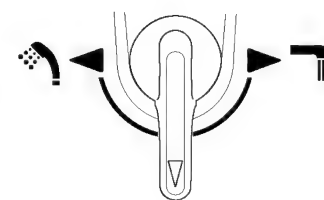
出湯栓切替レバーの ▷ マークは、水を出したい側の ◀ または ▶ マークに合わせてください。

出湯栓切替レバーの詳しい使い方については、下記のページを参照してください。

P15-16「出湯管やシャワーでお湯を使うとき」

給湯配管先で水を使うときは、出湯栓切替レバーは「止」のままで給湯栓を開けます。

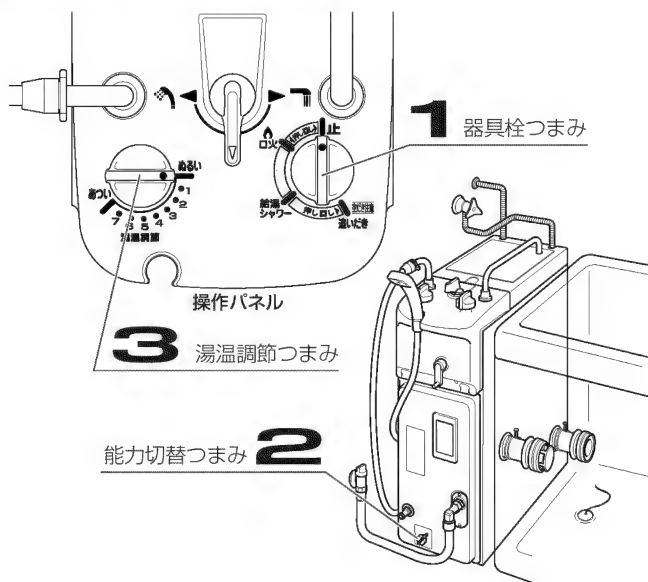
3

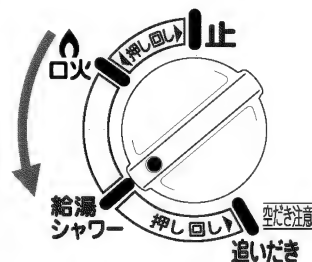
水を止めるには、出湯栓切替レバーを「止」に合わせる。

水が止まります。

給湯配管先で給湯栓を開けたときは、使用後給湯栓を閉じます。

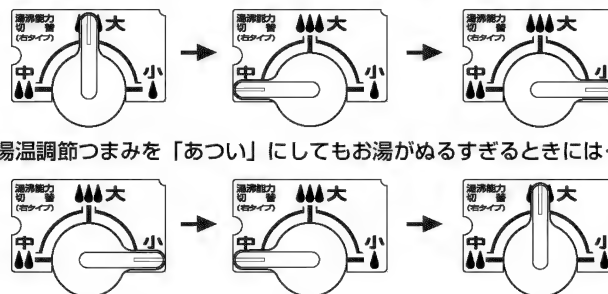
能力切替つまみの使いかた

夏期の水温が高いときや、水圧の低い地域では、湯温調節つまみを「ぬるい」にしてもお湯があつすぎることがあります。
冬期など水温が低いときは、湯温調節つまみを「あつい」にしてもお湯がぬるすぎることがあります。
こんなときには、能力切替つまみを切り替えてください。

1 器具栓つまみ
操作パネル
3 湯温調節つまみ
能力切替つまみ 2

1

器具栓つまみを「給湯シャワー」の位置に合わせる。

2

能力切替つまみを、適切な位置に合わせる。

湯温調節つまみを「ぬるい」にしてもお湯があつすぎるときには…

湯温調節つまみを「あつい」にしてもお湯がぬるすぎるときには…

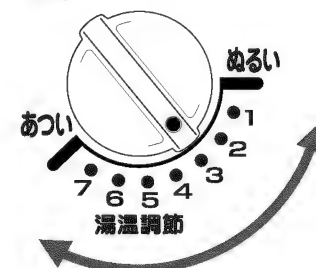
※上図は131-R920型・131-R924型・131-R926型の例です。131-R921型・131-R925型・131-R927型は左右の位置が逆になっています。

※131-R900型・131-R901型の能力切替つまみは上図とは表示および調節位置が異なります。（右図を参照）

● 能力切替つまみを「大」にしてシャワーを使用した場合、給水温度によっては、お湯の温度が高くなり過ぎて熱湯遮断弁が作動し、出湯が自動停止することがあります。

P16「▶▶仕組み」

3

出湯管からお湯を出し、再度湯温調節つまみで湯温を調節する。

能力切替つまみを切り替えると、湯温が変わります。必ず湯温調節つまみで調節してください。思わぬあついお湯が出ることがありますので、特に注意してください。

▶▶仕組み

能力切替つまみの位置と湯温調節つまみの位置と湯温の関係

	ぬるい	1	2	3	4	5	6	7	あつい
💧	湯温が低い								
💧💧									
💧💧💧									
💧💧💧💧									湯温が高い

※上図はめやすです。実際の温度は、季節や給水事情（水圧・流量など）により異なります。

※能力切替つまみ 💧💧💧💧 の位置は、131-R900型と131-R901型以外の機器にはありません。

警告

つまみはマークに合わせる

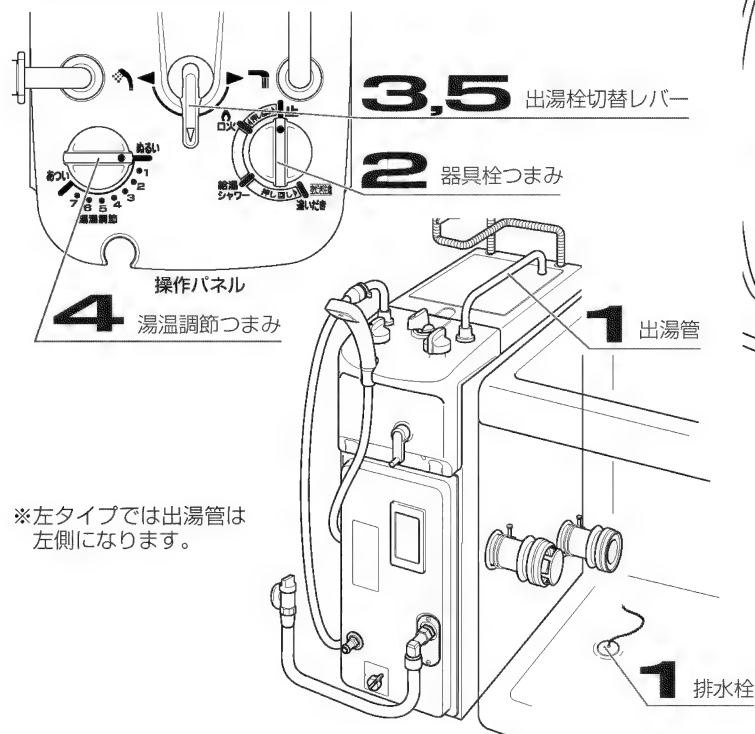
● 能力切替つまみは、マークにきちんと合わせてください。途中位置で使用すると、不完全燃焼の原因となり大変危険です。

やけど注意

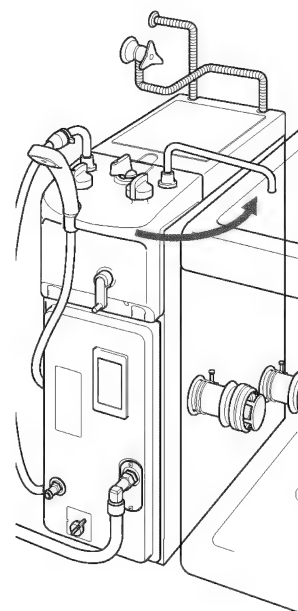
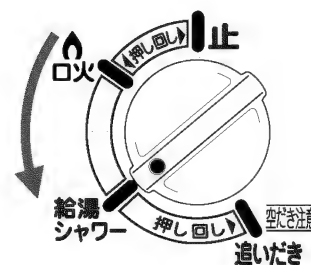
● 能力切替つまみの位置を「大」にした場合、給水温度によっては高温のお湯が出る場合があります。やけどに十分注意してください。

おふろにお湯をはる

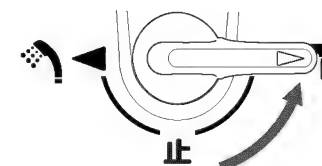
追いだきをする前にお湯をはります。水から沸かすよりも時間がかかりません。

※左タイプでは出湯管は左側になります。

1

浴槽の排水栓を閉じ、出湯管を浴槽内に回す。

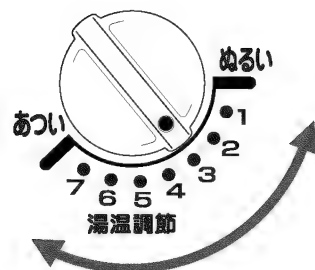
2

口火がついていることを確認し、器具栓つまみを「給湯シャワー」の位置に合わせる。

口火がついていないときは
📖P13-14「口火のつけかた」

3

出湯栓切替レバーを出湯管に合わせ浴槽にお湯を入れる。

出湯管からお湯が出ます。

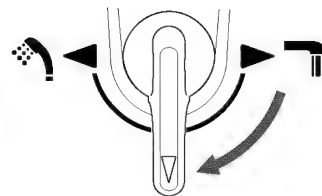
※出湯栓切替レバーの詳しい使い方は…
📖P15-16「出湯管やシャワーでお湯を使うとき」

4

湯温調節つまみで湯温を調節する。

ぬるい方に回すとお湯の量（出具合）が増えてぬるくなります。
あつい方に回すとお湯の量（出具合）が減ってあつくなります。
お好みの湯温が得られないときは…

📖P20「能力切替つまみの使いかた」

5

浴槽のお湯が適量になったら出湯栓切替レバーを止に合わせる。

お湯が止まります。
追いだきをするためには、水位が上部循環口より上に10cm以上必要です。

📖P23-24「おふろをあつくする」

お湯がぬるいときには…

追いだきをする。

📖P23-24「おふろをあつくする」

⚠警告

入浴前にお湯をかきまぜるやけどに注意

- 追いだき中や追いだき後は、お湯の上の方が熱くなっていますので、よくかきまぜて、必ず手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

入浴するときはやけどに注意

- 追いだきのときは循環口から熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

浴槽のふたについて

- 浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。ふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。
  おぼれたり、やけどをすることがあります。浴室では小さなお子さまを遊ばせないでください。

おふろを沸かしすぎたときには

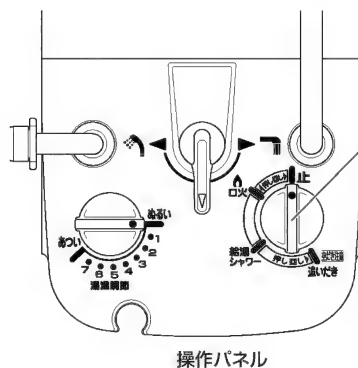
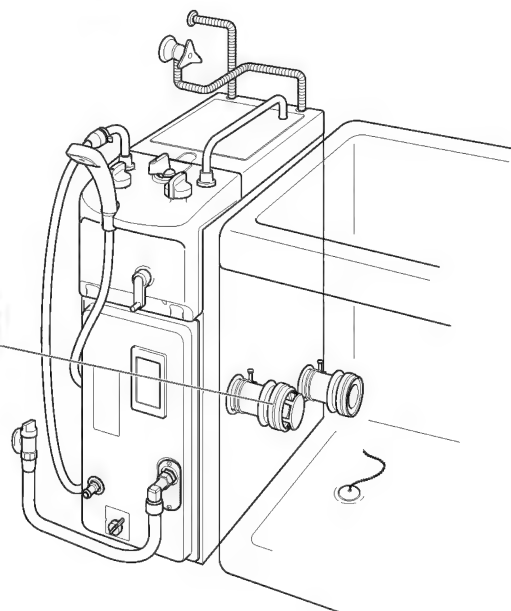
- 追いだきの消し忘れなどによりおふろを沸かしすぎた場合は、浴槽のお湯が沸騰し蒸気が噴き出すことがありますので、浴室へ入るときや、ふろのふたを開ける際はやけどなどに十分注意してください。
- 浴槽のお湯があつい間は、絶対に、お湯に手や体を入れたりしないでください。やけどのおそれがあります。

おふろをあつくする

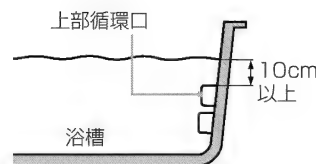
浴槽のお湯がぬるいときは、追いだきをしてください。
お湯が冷めてしまったときや前回の残り湯を再び沸かすときにもお使いいただけます。

上部循環口

10cm
以上

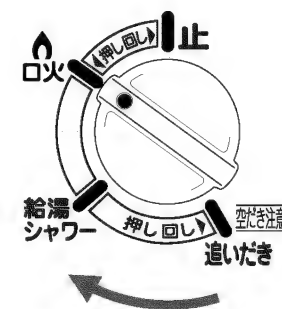
浴槽

1

浴槽に、上部循環口より上に10cm以上お湯（水）が入っていることを確認する。

2

口火がついていることを確認し、器具栓つまみを押しながら回し、「追いだき」の位置に合わせる。

追いだきバーナーに着火し、追いだきが始まります。
※2秒以内に追いだきバーナーに着火しない場合は…
📖P24「追いだきバーナーに着火しないとき」

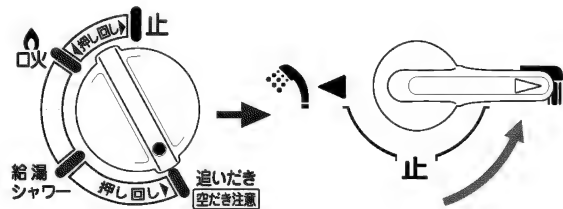
3

お湯が沸き上がったら器具栓つまみを「給湯シャワー」または「口火」の位置に合わせる。

追いだきが終わります。
使用後または就寝・外出のときは口火を消します。
📖P13-14「口火のつけかた」

ヒント

追いだきと給湯を同時使用する

- 131-R920型・131-R921型では、追いだきをしながら給湯やシャワーを同時に使用することができます。
- 器具栓つまみを「追いだき」に合わせたまま、出湯栓切替レバーを出湯管かシャワーに合わせます。
- 台所など給湯配管先でお湯を使いたいときには、出湯栓切替レバーは「止」の位置に合わせ、給湯配管先で給湯栓を開くとお湯が出ます。

⚠警告

入浴前にお湯をかきまぜる　やけどに注意

- 追いだき中や追いだき後は、お湯の上の方があつくなっていますので、よくかきまぜて、必ず手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

高温注意

入浴するときはやけどに注意

- 追いだきのときは循環口からあついお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

浴槽のふたについて

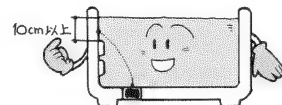
- 浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。ふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。おぼれたり、やけどをすることがあります。浴室では小さなお子さまを遊ばせないでください。

おふろを沸かしすぎたときには

- 追いだきの消し忘れなどによりおふろを沸かしすぎた場合は、浴槽のお湯が沸騰し蒸気が噴き出すことがありますので、浴室へ入るときや、ふろのふたを開ける際はやけどなどに十分注意してください。
- 浴槽のお湯があつい間は、絶対に、お湯に手や体を入れたりしないでください。やけどのおそれがあります。

⚠注意

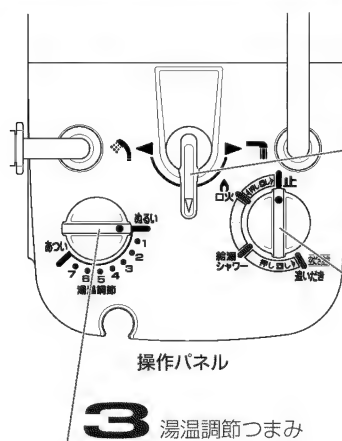
空だきを予防するために

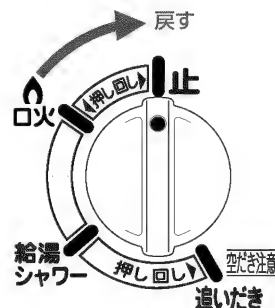
- 追いだきをするときは、浴槽の水位が上部循環口より上に10cm以上あることを確認してください。
  水位が低いと空だきし、機器の寿命を短くするだけでなく、機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。

追いだきバーナーに着火しないとき

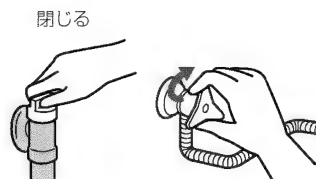
- 器具栓つまみを「追いだき」の位置に合わせて２秒以内に追いだきバーナーに着火しない場合は、器具栓つまみを「止」の位置に戻し、10分以上間をあけてガスを逃がしてから再び操作してください。着火しないまま「追いだき」の位置で２秒以上経過したり、10分以上待たないで口火をつけたり追いだきをしようとすると、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。

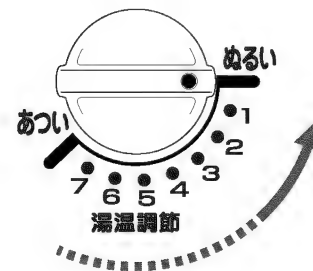
凍結による破損予防（水抜き）

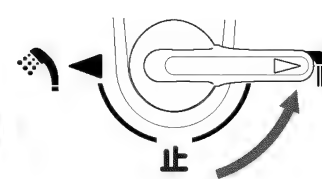
（凍結の恐れがある場合）

冬期は暖かい地域でも、機器内の水が凍結することがあり機器の破損や水漏れの原因となります。
このようなことを防ぐために、凍結のおそれがある場合や長期間使用しないときは次の処置（水抜き）をお取りください。
この処置を取らず、機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料です。

1

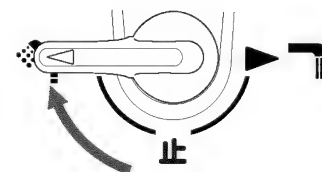
器具栓つまみを「止」の位置にもどす。

2

ガス栓・給水元栓を閉じる。

3

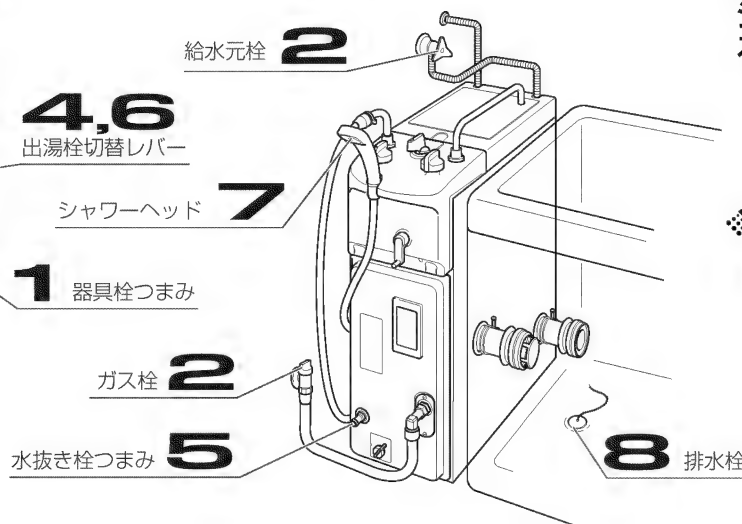
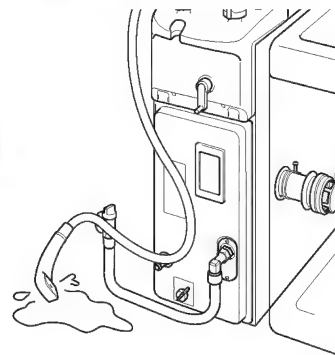
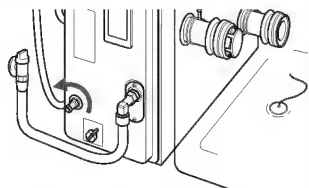
湯温調節つまみを「ぬるい」にする。

4

出湯栓切替レバーを出湯管に合わせる。

給湯配管してあるお宅では、台所・洗面所など配管先の給湯栓をすべて全開にします。

6

出湯栓切替レバーをシャワーに合わせる。

7

シャワーヘッドを低くし、ホース内の水を抜く。

5

水抜き栓つまみを左いっぱいに回す。

水抜き栓つまみより水が排出されます。
高温のお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

8

浴槽の排水栓を開けて水を抜き、再び使用するまでそのままの状態にしておく。

⚠注意

やけどに注意

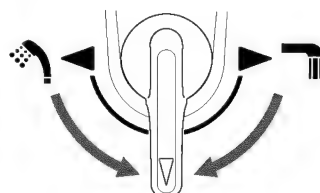
- 出湯管やシャワー、水抜き栓から高温のお湯が出ることがありますのでご注意ください。

高温注意

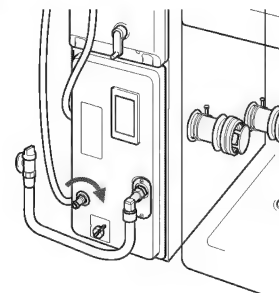
再び使用するとき

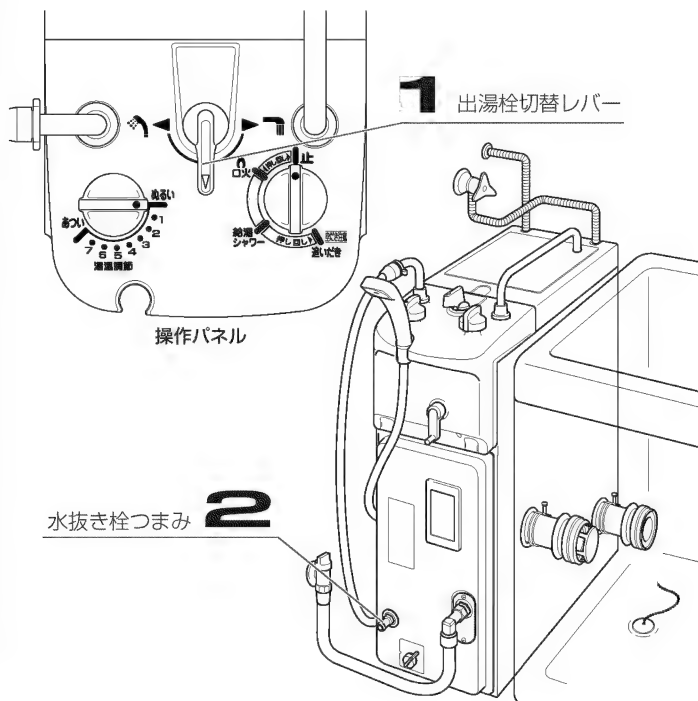
水抜きをした場合には、以下の手順で使用を再開してください。
機器本体および配管などが凍結している可能性のある場合には、「凍結したときの処置」を参照してください。

1

出湯栓切替レバーを「止」に合わせる。

給湯配管してあるお宅では、台所・洗面所など配管先の給湯栓をすべて閉じます。

2

水抜き栓つまみを元通り閉じる。

3

P12「初めて使うとき」にしたがう。

⚠注意

再び使用するときのご注意

- 水抜き栓は元通り確実に閉じてください。
  閉じかたが不十分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
- 凍結、水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下をぬらした場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

凍結したときの処置

- 凍結すると機器は使用できません。ガス栓・給水元栓を閉じ、出湯栓切替レバーを給湯かシャワーのいずれかに合わせ給湯配管先の給湯栓を開けてください。
- 給水元栓を開け、正常に水が出るようになれば給湯することができます。
- 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
  階下をぬらすと、近隣に迷惑をかけるだけでなく、多大な修理・補修費用がかかります。これらの費用はお客さまの負担となります。水漏れなど異常に気づいたときは…
  P5「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

点検のポイントとお手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。

日常の点検

点検のポイント － 機器周辺の状態

- 機器のまわりや給排気筒トップのそばに燃えやすいものや加熱されて困るものはありませんか？
P4「可燃物に注意」「引火のおそれのあるものの使用禁止　スプレー缶厳禁」
- 浴室の排水口は詰まっていませんか？
機器が浸水すると火災や機器損傷の原因となります。
詰ったら掃除をしてください。

点検のポイント － 機器の状態

- 機器本体や循環口接続部から水漏れしていませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 使用中に異常燃焼の音（点火時や使用時にゴーと音がする）や他の異常音が聞こえませんか？
- 万一異常を感じたときは・・・
P2「ガス漏れ時の処置」
P5「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」
- 機器の外観に変形によるすき間などの異常は見られませんか？
- 口火が小さくて点火しづらくありませんか？
- 着火音が大きくありませんか？

※機器のすき間や異常着火が見られた場合は、修理を依頼してください。

日常のお手入れ

機器のお手入れ

- 機器本体のお手入れは、水にぬらした柔らかい布を固くしぼって軽くふいてください。
- 循環口のお手入れは、循環口キャップを外し、循環口に水道のホースを入れて勢いよく水を注ぎ込み、上下交互に水洗いしてください。お手入れ後は循環口キャップを元通りに取り付けてください。
- 機器を使用しないときは、浴室の窓を開けて換気をよくし、浴室内を乾燥させてください。

お手入れ後は循環口キャップを元通りに取り付けてください。

循環口

循環口キャップの外しかた／取り付けかた

ツメのある部分の手前を中心方向に押して手前に引っ張る。

※外れにくい場合は、マイナスドライバーを循環口ベースの穴に差し込んでツメを押した状態で、循環口キャップを引っ張ってください。

取り付けるときは、ツメを循環口ベースの穴位置に合わせて押し込んでください。

給湯栓のお手入れ（給湯配管されているお宅）

- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

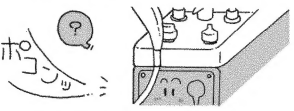
お願い

定期点検のすすめ（有料）

- 安心してお使いいただくために、定期的に（年に一回程度）点検を受けていただくことをおすすめします。
裏表紙「サービスを依頼されるとき」
- 万一使用中に異常音がする、排気に不快な臭いが混ざっている、排気が目にしみるなどの異常に気づいたときは…
P5「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

お願い

お手入れの際のご注意

- お手入れはガス栓を閉じ、機器が冷めてから行ってください。
- 機器と浴槽（壁）とのすきまに物などを落としたときやお手入れをする際は、手や腕を保護してから行ってください。
思わぬケガをすることがあります。
- 機器を洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はステンレスですがさびることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。
- 浴槽、給湯配管先の洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

点火確認窓のお手入れ

- 点火確認窓はいつもきれいにしておいてください。
窓が汚れて口火の点火が確認できないまま点火操作をくり返すと、機器内にガスがたまり、異常着火して大きな音がすることがあります。
汚れがひどいときは、おもてから歯ブラシなどでこするときれいになります。

修理を依頼される前に

次のような場合は故障ではありませんのでご安心ください。

こんなとき	こんな理由
点火または消火後に機器から‘ポコン’と音がする。	機器の側板・天板などが熱によって膨張、収縮するとおこる音です。
寒い日に給排気筒トップから白い湯気が出る。	冬期には、排気に含まれる水蒸気が冷やされることによって小さな水滴に変わり、白く見えることがあります。冬にはく息が白く見える現象と同じで異常ではありません。
長期間使用しなかった後、口火になかなか点火しない。	長期間使用しなかったために強化ガスホース内に空気が入り込んでいるからです。点火操作を数回繰り返してください。
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで、細かい泡となって出てくる現象です。ビールやサイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
給湯栓を開いても水がすぐにお湯にならない(給湯配管をしている場合)。	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

こんなとき	確認してください	ご覧ください こうしてください
点火しない	ガス栓は全開になっていますか？	ガス栓は全開にしてください。
	器具栓つまみを「口火」の位置で、約５秒間押し続けましたか？	P13-14「口火のつけかた」
	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)のランプが点滅していませんか？	マイコンメーターを復帰させてください。わからないときはもよりの大阪ガスへご相談ください。
	プロパンガス（LPG）がなくなっていませんか？	プロパンガス(LPG)の補充をプロパンガス販売店に依頼してください。
出湯管やシャワーからお湯が出ない	給水栓は全開になっていますか？	P12「初めて使うとき」
	器具栓つまみが「給湯シャワー」の位置になっていますか？	P15-16「出湯管やシャワーでお湯を使うとき」
	出湯栓切替レバーが出湯管かシャワーのいずれかの位置になっていますか？	
追いだきしない	器具栓つまみが「追いだき」の位置になっていますか？	P23-24「おふろをあつくする」
適温のお湯が出ない	給水栓は全開になっていますか？	P12「初めて使うとき」
	湯温調節つまみは適切な位置になっていますか？	P15-16「出湯管やシャワーでお湯を使うとき」
	能力切替つまみは適切な位置になっていますか？	P20「能力切替つまみの使いかた」

上記の操作をしてもなお異常のあるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

※水圧が極端に低いお宅では、能力切替つまみを「小」、湯温調節つまみを「ぬるい」にしてもあついお湯が出ることがあります。こんなときは水道工事店へ給水設備の改善を依頼してください。

仕様

仕様表　131-R900型・131-R901型

項目		内容
分類名称		給湯・シャワー付きガスBFふろがま
品名		131-R900型　　131-R901型
型式名		SR-135SN
外形寸法		幅250×奥行606×高さ665（mm）
外装材料		ステンレス鋼板
製品質量		19.0kg（本体のみ）
接続口	ガス	15A（R1/2）強化ガスホース接続
	給水	15A（R1/2）
	給湯	15A（R1/2）
	循環パイプ	外径φ45
※ガス消費量	給湯（シャワー）	大：26.7kW（23,000kcal/h）
		中大：20.3kW（17,500kcal/h）
		中小：13.4kW（11,500kcal/h）
		小：6.70kW（5,800kcal/h）
	ふろ	9.3kW（8,000kcal/h）
	同時	――――
※給湯能力		大：13.0号　中大：9.7号　中小：6.3号　小：3.0号
最低作動水圧		40kPa（約0.4kgf/cm^2）
希望水圧		80kPa（約0.8kgf/cm^2）～500kPa（約5kgf/cm^2）
点火方式		圧電点火方式
安全装置		立消え安全装置・給湯過熱防止装置・過熱防止装置・空だき安全装置・過圧防止安全装置・熱湯遮断弁

※ガス消費量・給湯能力はガス種により多少異なります。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

能力表　131-R900型・131-R901型

使用ガス（使用ガスグループ）	1時間当たりのガス消費量kW（kcal/h）			出湯能力（L/min）		※沸き上がり時間（min）
	※※最大	ふろ	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
13A	―――	9.30（8,000）	26.7（23,000）	12.4	7.8	約47
12A	―――	8.66（7,400）	24.9（21,400）	11.6	7.2	約51
LPG	―――	8.14（0.58kg/h）	26.7（1.92kg/h）	13.0	8.1	約54

※浴そうの180Lの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
※※ふろと給湯を同時使用したときの最大値です。（本機器は同時使用できません）
●上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
●出湯能力は計算値です。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様表　131-R920型・131-R921型

項目		内容
分類名称		給湯・シャワー付きガスBFふろがま
品名		131-R920型　　131-R921型
型式名		SR-61-A・SR-61※※
外形寸法		幅230×奥行555×高さ663（mm）
外装材料		ステンレス鋼板
製品質量		18.5kg（本体のみ）
接続口	ガス	15A（R1/2）強化ガスホース接続
	給水	15A（R1/2）
	給湯	15A（R1/2）
	循環パイプ	外径φ45
※ガス消費量	給湯（シャワー）	大：14.5kW（12,500kcal/h）
		中：9.77kW（8,400kcal/h）
		小：5.12kW（4,400kcal/h）
	ふろ	9.90kW（8,500kcal/h）
	同時	24.0kW（20,600kcal/h）
※給湯能力		大：6.5号　中：4.3号　小：2.3号
最低作動水圧		40kPa（約0.4kgf/cm^2）
希望水圧		80kPa（約0.8kgf/cm^2）～500kPa（約5kgf/cm^2）
点火方式		圧電点火方式
安全装置		立消え安全装置・給湯過熱防止装置・過熱防止装置・空だき安全装置・過圧防止安全装置・熱湯遮断弁

※ガス消費量・給湯能力はガス種により多少異なります。
※※LPG仕様のものはSR-61、その他はSR-61-A。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

能力表　131-R920型・131-R921型

使用ガス（使用ガスグループ）	1時間当たりのガス消費量kW（kcal/h）			出湯能力（L/min）		※沸き上がり時間（min）
	※※最大	ふろ	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
13A	24.0（20,600）	9.90（8,500）	14.5（12,500）	6.5	4.1	約45
12A	22.7（10,500）	9.30（8,000）	14.0（12,000）	6.3	4.0	約48
LPG	23.3（1.67kg/h）	9.90（0.71kg/h）	14.5（1.03kg/h）	6.5	4.1	約45

※浴そうの180Lの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
※※ふろと給湯を同時使用したときの最大値です。
●上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
●出湯能力は計算値です。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様表　131-R924型・131-R925型

分類名称		給湯・シャワー付きガスBFふろがま	
品名		131-R924型	131-R925型
型式名		SR-S1D	
外形寸法		幅230×奥行555×高さ663（mm）	
外装材料		ステンレス鋼板	
製品質量		18.5kg（本体のみ）	
接続口	ガス	15A（R1/2）強化ガスホース接続	
	給水	15A（R1/2）	
	給湯	15A（R1/2）	
	循環パイプ	外径φ45	
※ガス消費量	給湯（シャワー）	大：14.5kW（12,500kcal/h）	
		中：9.77kW（8,400kcal/h）	
		小：5.12kW（4,400kcal/h）	
	ふろ	9.90kW（8,500kcal/h）	
	同時	―――	
※給湯能力		大：6.5号　中：4.3号　小：2.3号	
最低作動水圧		40kPa（約0.4kgf/cm^2）	
希望水圧		80kPa（約0.8kgf/cm^2）～500kPa（約5kgf/cm^2）	
点火方式		圧電点火方式	
安全装置		立消え安全装置・給湯過熱防止装置・過熱防止装置・空だき安全装置・過圧防止安全装置・熱湯遮断弁	

※ガス消費量・給湯能力はガス種により多少異なります。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

能力表　131-R924型・131-R925型

使用ガス	1時間当たりのガス消費量kW（kcal/h）			出湯能力（L/min）		※沸き上がり
（使用ガスグループ）	※※最大	ふろ	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	時間（min）
13A	―――	9.90（8,500）	14.5（12,500）	6.5	4.1	約45
12A	―――	9.30（8,000）	14.0（12,000）	6.3	4.0	約48

※浴そうの180Lの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
※※ふろと給湯を同時使用したときの最大値です。（本機器は同時使用できません）
●上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
●出湯能力は計算値です。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様表　131-R926型・131-R927型

分類名称		給湯・シャワー付きガスBFふろがま	
品名		131-R926型	131-R927型
型式名		SR-S1-A	
外形寸法		幅230×奥行555×高さ663（mm）	
外装材料		ステンレス鋼板	
製品質量		18.5kg（本体のみ）	
接続口	ガス	15A（R1/2）強化ガスホース接続	
	給水	15A（R1/2）	
	給湯	15A（R1/2）	
	循環パイプ	外径φ45	
※ガス消費量	給湯（シャワー）	大：14.5kW（12,500kcal/h）	
		中：9.77kW（8,400kcal/h）	
		小：5.12kW（4,400kcal/h）	
	ふろ	9.90kW（8,500kcal/h）	
	同時	―――	
※給湯能力		大：6.5号　中：4.3号　小：2.3号	
最低作動水圧		40kPa（約0.4kgf/cm^2）	
希望水圧		80kPa（約0.8kgf/cm^2）～500kPa（約5kgf/cm^2）	
点火方式		圧電点火方式	
安全装置		立消え安全装置・給湯過熱防止装置・過熱防止装置・空だき安全装置・過圧防止安全装置・熱湯遮断弁	

※ガス消費量・給湯能力はガス種により多少異なります。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

能力表　131-R926型・131-R927型

使用ガス	1時間当たりのガス消費量kW（kcal/h）			出湯能力（L/min）		※沸き上がり
（使用ガスグループ）	※※最大	ふろ	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	時間（min）
13A	―――	9.90（8,500）	14.5（12,500）	6.5	4.1	約45
12A	―――	9.30（8,000）	14.0（12,000）	6.3	4.0	約48

※浴そうの180Lの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
※※ふろと給湯を同時使用したときの最大値です。（本機器は同時使用できません）
●上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
●出湯能力は計算値です。
●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお申し付けください。

サービスを依頼されるとき

- まずP28の「修理を依頼される前に」、をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
📖 別紙「大阪ガスのお問い合わせ先」
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1. **お名前・ご住所・電話番号・道順**（近所の目印など）
  2. **品名** 131-R900型／131-R901型／131-R920型／131-R921型／131-R924型／131-R925型／131-R926型／131-R927型／（機器前面の品名をご覧ください）
  3. **現象**（できるだけ詳しく）
  4. **訪問希望日・時**

保証について

- 保証書は別添になっています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証内容をよく読んでください。
- 保証期間経過後の故障については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

機器を移転するとき

- ガス種が異なる地域へ機器を移転されるときは機器の調整、改造が必要となります。販売店または転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。ガス種によっては機器の改造ができないことがあります。
- 増改築などのために機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ず販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 移設・移転に伴う調整や工事の費用は有料です。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有償修理いたします。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

BL認定品には、機器の前面に下のうちいずれかの表示があります。

乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

お問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

⚠ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。